

### 初めて尽くしの9日間

7月13日から24日まで、埼玉親善大使としてドイツで行われたワールドストリートチャンピオンシップへ参加し、ブランデンブルグ州政府を訪問させていただきました。

私がこの活動に参加させていただこうと思った理由は二つあります。一つ目は、私自身サッカーをしていることから海外のサッカーをテレビで見る機会が多くあり、海外のサッカーに興味があり、実際に海外でサッカーをしたり、観たりすることにより、海外のサッカーを肌で感じて、日本でのサッカーとの違いを知りたいと思ったからです。二つ目は、埼玉親善大使として埼玉県をPRしながら、現地の人々との交流を通じて、日本とは異なる文化や習慣に触れ、自身の視野を広げることにつなげていきたいと思ったからです。

私は、今回が初めての海外で、ドイツ語はもちろん英語も全くといっていいほど話すことも聞き取ることもできなかつたため、現地の方々とうまくコミュニケーションが取れるかが一番不安でした。また、日本とは違う環境になれることができるのかという不安もありました。しかし、事前に簡単な自己紹介文や日常的に使われる単語を調べて用意したり、一緒に参加した、女子メンバー、男子メンバー、職員の方に助けていただいたりしながら、充実した九日間を過ごすことができました。

成田空港を出発して、オランダのアムステルダム空港で乗り継ぎをし、ドイツのベルリンに向かいました。現地に到着してまず驚いたことは、空港付近の交通量の多さと、人が近くにいても車は人の側を猛スピードで通行することでした。日本では通行人が優先されることが多いため、横断歩道を通行しているときにクラクションを鳴らされ、急いで渡るよう促されたことに驚きました。日本とは異なるルールを目の当たりにして、驚きと同時に、新しいことを知れた嬉しさがありました。ホテルへ向かう道中にも日本との違いを多く発見することができました。二日目からは、みんなでサッカーをして汗を流したり、ドイツの街を観光させていただいたりしました。観光をしているときも、レストランなどで食事をしているときも日本との違いをいくつも発見することができました。中でも食事をしているときに驚いたことが二つありました。一つ目は、水も有料であるということです。日本ではレストランなどに入店して席に着くと水は勝手に出てきますが、水も注文しなければなりません。二つ目は、ドイツでは少量のお酒を飲んだだけならば、車の運転をしても大丈夫ということに驚きました。ドイツでの移動手段は主に車でした。現地の方が運転してくださっていたのですが、その運転してくださる方は食事のときにビールを飲んでいました。本当に大丈夫なのかととても不安になりましたが、その方は、「少しだけなら大丈夫。いつも飲んでるしね。」と笑っていました。ドイツでは日常的にビールが飲まれていたり、水よりもビールの方が安く売られたりすることから、ドイツ人は日本人に比べて、お酒に強いのだと思いました。

州政府を表敬訪問し、州議会を見学させていただいたときには、通訳の方に説明をしていただき、ドイツと日本の政府や政治の違いを学ぶことができました。

ワールドストリートサッカーチャンピオンシップに参加させていただいたときには、いくつかの国の方々とたくさん交流することができました。このワールドストリートサッカーチャンピオンシップは、普通のサッカーとは違い、壁に囲まれた小さいフィールドで、3対3で対戦するものでした。得点を競うことはもちろん、フェアでプレーすることも重要視されている大会で、ファウルをした場合は、自ら申告をしなければならないというルールがありました。ドイツやアメリカ、コソボ、チリなど様々な国の人が参加をしていました。予選リーグ、決勝トーナメントを行い、コソボ、ドイツの次に次ぐ3位という結果でした。優勝を目指していたので悔しい結果となりましたが、とても貴重な経験をさせていただきました。大会中、言葉は通じなくてもジェスチャーや単語でコミュニケーションをとりました。空いた時間には、現地の方や子供たちと一緒にボールを蹴ったり、ドイツ語を教えてもらったりしました。また、似顔絵を描いてプレゼントをしてくれたり、私たちが試合をしているコートを囲み、「ヤーパン！ヤーパン！」と日本コールをして応援してくださる方々もいて、人々の温かさを感じることができました。

今回の活動を通じて、日本とドイツの文化や習慣の違いを数多く知ることができました。また、日本を日本の外から見ることにより、今まで見ていた日本とはまた違う日本を感じることができました。多くのことを経験し、吸収することができ、今までになかった考えを持つことができました。とても貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今回の活動で得たものを今後の自身の活動に生かしていきたいです。